

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 09交通政策課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	800	事務事業コード	0905
事務事業名	新幹線対策事業			開始年度	平成16	終了年度	未定	
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	無し		
将来ビジョン	3. 交通インフラの整備 (2)佐渡航路の安定と充実					H25: 重点●政策○	-	
H26施政方針	1. 人口減少対策 (5)観光等交流人口の拡大					H26: 重点●政策○	-	
H27施政方針	1. 人口減少対策 (5)産業の振興 ② 3資産と観光振興					H27: 重点●政策○	-	
事業概要	<p>①上越新幹線活性化同盟会 国等への要望活動1回、シンポジウムの開催1回、PR活動2回(朱鷺メッセ、大宮)</p> <p>②北陸新幹線建設・活用促進期成同盟会 国等への要望活動1回、シンポジウムの開催1回、PR活動2回(東京、大阪)</p> <p>③新幹線まちづくり推進上越広域連携会議 北陸新幹線沿線5市(佐渡、上越、妙高、十日町、柏崎)、関係団体で構成する。 1)新幹線開業に対する県内外へのPR 北陸新幹線上越妙高駅開業記念イベント 平成27年3月14日～15日開催 来場者数85,000人</p> <p>2)周遊型観光の推進に向けた旅行商品造成支援 佐渡モニターツアー 平成27年3月14日～15日実施 北陸・長野方面の旅行エージェンツ 19人参加</p> <p>3)二次交通の確保 上越妙高駅ー直江津港直行シャトルバスの運行支援 運賃500円 平成27年3月14日～31日 利用実績138人</p> <p>4)機運醸成 7/22～9/5「きもちを伝える絵手紙」募集 1,354通応募 8/5 W7系初入線歓迎セレモニー 700人 10/11 上越妙高駅内覧会 620人 10/19 上越妙高駅鉄道まつり 5,500人</p>							
対象	<p>①上越新幹線沿線利用者等</p> <p>②国土交通省、関係省庁、国会議員等、鉄道利用者</p> <p>③沿線5市及び5市圏域の観光・商工・交通事業者等、航路利用者、鉄道利用者</p>							
意図 (対象をどのようにしたいか)	<p>①北陸新幹線の開業に伴い上越新幹線と連携した周遊型観光推進のため、行政、経済界・県民など関係機関が結集し、利用促進を図る。</p> <p>②北陸新幹線の早期整備を促進する。</p> <p>③5市圏域が一体となって観光誘客をはじめとした交流人口増加や地域活性化を図り、ひいては小木直江津航路の活性化に寄与する。</p>							

Do

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度 実績値	26年度(評価年度)		27年度 目標値	28年度 目標値	31年度 目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	上越妙高駅ー直江津港直行シャトルバス利用者数	人	-	-	138	10000	10500	11000
算式	実数 暦年							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名	H25 決算額	H26 決算額		H27当初 予算額	H28以降の 予算の方向性		重点 細事業
			H25実績値	目標値		実績値	H27目標値	
1	北陸新幹線建設促進期成同盟会負担金事業	23		4	69	予算	維持	
	指標 要望活動	回	1	1	1	事業	維持	
2	上越新幹線活性化同盟会負担金事業	90		58	98	予算	維持	
	指標 活性化キャラバン回数	回	3	3	3	事業	維持	
3	新幹線まちづくり推進上越広域連携会議負担金事業	-		3,820	4,024	予算	減額	
	指標 上越妙高駅ー直江津港直行シャトルバス利用者数	人	-	138	10000	事業	維持	
事業費の合計(千円)		113		3,882	4,191			
財源内訳	国庫支出金	0		0	0			
	県支出金	0		0	0			
	地方債	0		0	0			
	その他	0		0	3,000			
	一般財源	113		3,882	1,191			

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき	
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策	
1	北陸新幹線建設促進期成同盟会負担金事業	A	B	B	整備新幹線「金沢⇄敦賀」間の2023年開業に向け同種他団体との連携強化や圏域が一体となった建設促進の要望活動が必要。	
2	上越新幹線活性化同盟会負担金事業	A	B	B	北陸新幹線開業により、東京・高崎区間の運航ダイヤの制限による利用者の減少が予想され、利用促進を図るとともに要望活動を積極的に進めてゆく。	
3	新幹線まちづくり推進上越広域連携会議負担金事業	A	B	B	北陸新幹線が開業し、一定の目的を達したので、今後は利用促進を図るため、上越妙高駅⇄直江津港直行バスの利用促進として開業記念運賃500円としているが、運行実績を検証し、今後、運行事業者独自での割引実施が可能か調整を図る。	
Action		◆今後の事務事業の方向性◆				
評価(担当課長)		事業の方向性	維持	予算の方向性	減額	
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		北陸新幹線建設促進期成同盟会と新幹線まちづくり推進上越広域連携会議の組織のあり方について、27年度、一本化できないか協議する。2つの新幹線を活用し、佐渡を扇の要とする周遊型観光の推進を図る。				